

被選挙権年齢 18歳化を提言

超党派若者議連

超党派の若手議員に
よる「若者政策推進議
員連盟」（会長・牧原
秀樹自民党衆院議員）
は28日、自民党の岸田



提言を提出する中曾根氏(前列右)
と堀越氏(前列右から3人目)

文雄政調会長らを国会
内に訪ね、国政選挙や
地方自治体の選挙に立
候補できる被選挙権年

齢の18歳への引き下げ
を柱とする提言書を手
渡した。立憲民主、国民
民主、公明、日本維新の

会、共産各党の幹部に
も会い、理解を求めた。
幹事を務める自民の中
曾根康隆衆院議員、立
憲民主の堀越啓仁衆院
議員も参加した。

若者の政治参加促進
や、地方議員のなり手
不足解消につなげたい
狙い。提言書では、政
治に挑戦する若者の意
欲をそいではいけない
との観点から、立候補
時に必要な供託金も大
幅に引き下げるべきだ
とした。